

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立つつじが丘小学校
校長名 大友 基裕

令和6年度教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

『だれもが笑顔になる学校』

- *自ら学び、表現する子 ～すすんで考え、豊かな発想をもち、自分らしさを発揮する～
- *認め合い、協力して行動する子 ～すすんで行動し、励まし高め合い、人のためになる～
- *すすんで体を整える子 ～明るくたくましい心と健康な体をもち、共に伸びようとする～

(2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ア 基本理念である『自立と共生』の実現に向け、人間尊重の精神を基盤として、学校を学びの共同体という視点で捉え、昭島市教育振興基本計画の4つの基本施策に基づく教育改善に取り組む。
- イ 教員の資質と能力の向上を目指し、経験や職層に応じて計画的にOJTに取り組む。また、教員が意欲的に児童の指導にあたるよう効果的に講師や支援員等を活用する。
- ウ 体験活動や表現活動を充実させることで、豊かな感性をはたかせる創造性と豊かな人間性・社会性を育む。また、SDGsに取り組み、持続可能な社会づくりに貢献しようとする態度を育てる。
- エ 児童の自尊感情を高め生命尊重の精神を醸成するとともに、性的思考における多様性を知る機会を充実させたり、自他の大切さに気づき、互いに認め合い、豊かに関わり合えたりする児童を育成するために、道徳科の時間を要として、教育活動全体を通して道徳教育、人権教育の充実を図る。
- オ 特別活動全体計画の見直しを行い、異年齢集団による交流活動の充実を図ることで、自己有用感を高め、社会性や所属意識の向上に努める。
- カ 特別支援学級設置校・特別支援教室拠点校として、昭島市における特別支援教育の中心的な役割を果たすとともに、「昭島市立学校 教育のユニバーサルデザイン」を効果的に活用し、副籍交流等の交流及び共同学習を行い、全ての児童にやさしい教室環境、学習環境、授業の実現に向けて組織的に取り組む。また学校生活支援シートの作成及び活動を基にした指導や支援を充実させる。
- キ 生活指導の校内体制を充実させ、関係機関や地域と緊密に連携する。また、特別な支援の必要な児童及びその保護者への対応、いじめや不登校等の教育課題を解決するためSCやSSWとの連携を図り、組織的に解決する。
- ケ 学校満足度調査（hyper-QU）の実施、分析等を踏まえた予防・開発的な生活指導の充実を図る。
- コ 学校運営協議会を核として、学校・家庭・地域の三者で協働して、自立の基盤となる社会規律を遵守しようとする心及び郷土を愛する心を育てる。また学校の教育活動を公開し、多面的な学校評価により教育活動改善に努める。
- サ 瑞雲中ブロック小中連携の取組の目指すビジョン『自立と共生』の実現に向け、義務教育9年間を継続的につなげていく連携システムを構築する。
- シ 就学前教育との円滑な接続を目指して、スタートカリキュラムを充実させる。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえ、幼保小の連携を深める。
- ス 学校の安全指導年間計画に基づき、危機管理マニュアルの作成・周知や安全指導及び安全管理を徹底し、関係機関や地域と連携した安全対策を強化することで、児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。
- セ 児童の体力向上と健康的な生活習慣の形成を目指して、体育科及び健康教育の全体計画に基づき、体力・運動能力に関する調査結果を踏まえ、系統的な指導を行うとともに「元気アップガイドブック」の活用と、「グッドモーニング60分」の啓発により、体力向上に向けての児童の主体的な取組を充実させる。
- ソ 家庭や地域と連携し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、「アレルギー疾患対応マニュアル」に基づき、食物アレルギー事故防止の徹底を図る。
- タ 「ICT活用マニュアル」に基づき、一人1台のタブレット端末を活用して、誰一人取り残すことなく、公正で個別最適化された学びを推進するとともに、情報モラルを徹底する。
- チ 全職員共通理解のもと、新型コロナウイルス等の感染防止対策の定期的に見直しや実践と、充実した教育活動を両立する。
- ツ キャリア・パスポートの活用による生活の振り返りや目標の設定等、一人一人のキャリア形成と自己実現に向けた活動を推進する。